

ここんぺき

静岡市稲門会
会報 第5号
2017.12.15

新会長陰山正敏氏を選任 平成29年度総会

総会（5月12日）では大村栄一会長の任期満了に伴う役員改選が行われ、陰山正敏氏（昭和44年文学部卒・静岡醬油合資会社 代表社員会長）が満場の賛意を得て新会長に選任されました。またこれに伴い、陰山新会長による指名で以下のような役員構成が示され、承認されました。

新会長に選任された陰山正敏氏は挨拶の冒頭、西元会長が急逝された後、大村栄一氏が会長代行として、また会長として会の運営をしっかり引き継いでくれたことに感謝の意を表し、新たな会運営について次のような抱負を述べました。



「当会は同じ大学で学んだ者たちが異なった分野、職

種、世代のOB、OG達と知り合い、交流を深め、啓発し合うことのできる貴重なネットワークです。ただ、まだまだ若い世代や女性の方々の参

加が少ないのが現状です。

新たな組織づくりにおいては、若い世代や女性にとつてより魅力あるものとしていきたいと存じております。皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

陰山新会長は大学時代、体育局自動車部昭和43年度主将を務め、学生時代からその指導力と馬力には定評があります。

平成29年度新役員

- 会長 陰山 正敏(昭44文)
- 顧問 大村 栄一(昭36商)
- 石川禮一郎(昭38商)
- 金原 壮治(昭39商)
- 田辺 信宏(昭60政経)
- 石上頭太郎(昭52理工)

- 丹澤 卓久(平5政経)
- 尾崎 剛司(平15教)
- 副会長 大高 圭介(昭45商)
- 木宮 岳志(昭51法)
- 小川 満(昭53政経)
- 石渡 裕子(昭52教)
- 幹事長 小長谷建夫(昭45商)
- 副幹事長 横山 泰久(昭59商)
- 白濱 史教(平20政経)
- 内田 知志(昭46文)
- 会計 悦男(昭36政経)
- 会計監査増田 悦男(昭36政経)



「人生劇場」口上青島流家元にして早大校友会静岡県支部幹事長の青島秀樹さんが、校友ならば知らない人はいない「ああ、歓楽は女のいのちにして、虚栄は女の…」なる早稲田大学第2校歌『人生劇場』の口上を披露してくれました。

勿論歌の方は参加者全員で合唱しましたので、久しぶりに青春の血が騒いだ人も多かったことでしょう。

◇岩崎清悟さんが旭日小綬章、川口正俊さんが瑞宝中綬章を受章

総会の席で岩崎清悟さんに記念品が贈呈されました。また欠席の川口正俊さんには後日、早慶ビアパーティーの席上、贈呈させていただきました。おめでとうございます。

陰山会長と鈴木与平会長（静岡三田会）が握手

早慶ビア・パーティー

7月28日、中島屋グランドホテルで恒例の早慶ビア・パーティーが開催されました。

今回は三田会が幹事役。稲門会、三田会ともに新会長を迎えた最初の事業とあつて、参加者はともに65名余、合わせて130名余という、

本会始まって以来最多の参加者数となりました。応援合戦は引き分け・・・としておきましよう。



お仕事中、おじやまします 校友の職場訪問

政治、経済、教育、文化等様々な分野で活躍する本会会員。その職場を訪問させていただきました。お忙しいところ有難うございました。

俳人 恩田侑布子さん

SBS学苑講師（昭54年文卒）

SBS学苑「楽しい俳句」講座の教室におじやましました。

恩田さんは高校在学中から短歌、俳句を始められました。大学卒業後に様々な出来事が重なり、それまでのめり込んでいた言葉の世界を一旦離れ、陶芸家の道を歩み始めました。ところが体調を崩し、肉体を駆使する陶芸を断念せざるを得なくなり、再び俳句の世界に戻られたとのこと。その後の俳句界で



の輝かしい活躍ぶりや受賞歴を見れば、俳句こそ恩田さんに天から与えられた分野であったと思われま。

恩田さんは2013年、評論集「余白の祭」でドゥマゴ文学賞を受賞。

14年にはパリ日本文化会館客員教授としてフランスで講演を行い、さらに17年には句集「夢洗い」で芸術選奨文部科学大臣賞、現代俳句協会賞等を受賞されています。



笑い声がいつぱいの教室

のいい教室として、このこと。結社システムが網羅している俳句界で、独立独歩の道を行ってきた恩田さんならではの講座ですね。確かに教室では笑い声が絶えず、どなたも目を輝かしていたのが印象的でした。

阿部化学(株)代表取締役社長

阿部裕之さん（昭52年理工卒）

◇創業70周年。社長23年目

焼津の本社工場へ伺いました。工場・事務所と倉庫が建つ広大な敷地には、すでに次の棟の建設が予定されているとのこと、会社の勢いが感じられます。

阿部裕之さんは2代目社長。早大を卒業し神戸製鋼に勤めた後、お父上の昌之氏の創業した同社に入社、平成6年40歳の時、社長をバトントッチされ23年となります。

当初は石鹼の製造等からスタートした会社でしたが、その後有機溶剤の再生処理、さらに社会のニーズに応えフロンガスの適正処理（蒸留再生・破壊）へと業務は変化してきまし



きれいに整理された工場を背景に

た。しかし化学を通じ社会に貢献するという目的は一貫しているとのこと。裕之さんが社長になられてから、手狭になった静岡市八幡の工場を焼津に移すとともに、本格的にフロン関連業務を拡大し、昨年は「第19回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」優秀賞』を受賞するなど、まさに地域にも社会にも貢献する企業として成長しています。

◇母校の野球部後援会長に

こんな多忙な阿部さんですが3年前、母校の静岡高校野球部後援会長に推され、意気に感じ引き受けたとのこと。公式戦には必ず球場に駆け付け、現役や父母の会の応援に加わります。毎回の応援参戦を支えてくれているのは、会社の従業員や家族の皆さんであることは間違いなさそうです。

静岡は今年の夏の大会は逃しましたが、秋は東海大会で優勝、神宮大会ベスト4となり、来春の選抜出場を確実にしています。なんと会長の3年間で甲子園3回（来年春を入れて）、神宮2回の出場といますから、阿部さんの強運がわかりますね。

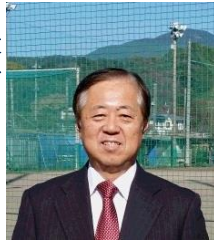
選手たちが毎日精神的にも肉体的にも成長していくのを見るのが、なにより楽しみとのことでした。

また社長業や後援会長の激務をこなすには健康が第一と、年間2百回のジム通いを目標としています。

**常葉大学付属橘中学・高校
校長 吉田昌宏さん(昭50年文卒)**

◇より高きを目指し

新築の立派な校舎の玄関で、こやかに迎えてくれた吉田校長。すぐに整備中のグラウンドを案内してくれました。野球グラウンドは高いネットで周辺にも配慮した本格的球場。サッカー、ラグビー用には全面人工芝のグラウンド。この



10年間で3度の甲子園出場を果たした野球部や全国大会常連の女子

球場をバックに サッカー部などの活躍も領けます。

吉田さんは、県立の吉田、清水南富士の各高校長を、合わせて11年間歴任した後、常葉大学に勤務。3年前より同大付属橘中学・高校(昨年校名変更)の校長に就任しています。校舎の一新や校名変更は、大学との連携を深め、新しい時代に対応した中高一貫教育を一層進めるためとのこと。預かった生徒にはしっかりとした学力をつけさせるとともに人間性を高め、社会に役立つ人材として送り出したいと抱負を熱く述べてくれました。

他の大学を見るのも学業の刺激

になると、この夏は英数科の生徒を50人近く引き連れ、早稲田大学に行き、校長自ら学内を案内したとのことです。

大隈講堂の前でのショット



◇岡崎球場でエール交換

さて、吉田さんはいつも稲門会会合で、学生時代の応援経験を生かして校歌や応援歌などの指揮をしてくれています。今秋の高校野球東海大会で橘高校が準々決勝に駒を進めた岡崎球場でのことです。相手は中京院中京。中京側は現役の応援団、チアリーダー、吹奏楽団が参加していました。橘高は平日のため父母とPTA役員のみ。エール交換を求められ、しかたなく吉田校長が指揮したとのこと。スタンドは万雷の拍手でしたが「会場が静岡だったら恥ずかしくてできなかった」との弁。でもたとえ静岡でも、熱き吉田校長ならやってくれたのだと思えますね。

つま恋リゾート彩の郷

会長 川口正俊さん(昭44年法卒)

すでに伝説ともなった「吉田拓郎とかぐや姫コンサート」をはじめ、中島みゆきや世良公則などを輩出した「ポプコン」、TUBEやチャゲ&飛鳥、サザンオールスターズ、ドリカムなど数えきれない野外コンサートを展開してきた「つま恋」が閉鎖されるというニュースに、音楽ファン、スポーツ愛好者ならずとも、本県や掛川地域関係者は大きなショックを受けました。まさに失って知るその価値でした。

その「つま恋」がHMIの支援を得て、新たに「つま恋リゾート彩の郷」として生まれ変わることになり、会長として施設を率いることになったのが川口正俊さんです。



つま恋イルミネーション広場を案内してくれた川口会長

川口さんは県職員時代は人事や総務、健康福祉、企業部門などを歴任。その後県副知事として石川県政を支えてきました。川口さんに白羽の矢が立った要因はこうした豊かな経験、人脈、実務者としての能力等を見込まれたからと思われれます。どのような方針で「つま恋」を立て直すのかは、まさにHMI(ホテルマネジメントインターナショナル)が全国展開するホテル事業の中で、本施設をどのような位置づけとしていくかにかかっています。新しい全体像が明らかになるのはこれからとのことです。

◇地域発信の拠点に

川口会長の役割は、事業を止めることなく滑らかに継続させ、地域の理解と信頼を確固たるものにするとともに、スポーツや音楽などの特色ある環境を生かし利用者の拡大を図っていくことにあります。

馬場やアーチェリーコースは国際競技を何度も実施している本格的施設。その他様々な施設は大学のサッカー部の合宿所として、企業の会議、研修会場や運動会、レクレーション大会などにも活用されているとのこと。団体のニーズだけでなく、個人客をいかに取り込むかも大きな課題です。

ぜひ再び地域発信拠点となってもらいたいものです。

OB・OG通信

新年はチャレンジの年に！

夏目はる子さん（平9年法卒）

この度新加入させて頂いていただきました。よろしくお願ひします。

静岡市出身で現在、静岡理工科大学で経理を担当しています。

山や旅行が大好きで、今年には白峰三山を縦走しました。写真は北岳に登った時のものです。



北岳は富士山に次ぐ高さなんですよ！

映画も好きでよく見ますが、テノポの速いハリウッドものよりも、ぐつと心に残るものが好きです。最近では「最強のふたり」や「ダムインニューヨーク」が面白かったです。

稲門会では先輩方から多くのことを学び、いろいろなことにチャレンジしたいと思っています。

空道を知っていますか

門井 研さん（平6年政経卒）

浜松の出身です。第一テレビ経営企画部で経理部門を担当しています。学生時代から続けているのが空道ですがご存知でしょうか。



真中の強そうなのが私です

打撃技、投げ技、寝技が認められた総合格闘技で、安全性と実戦性の両立を目指しています。顔面プロテクターが必須という激しい競技です。以上、不束者ですがよろしくお願ひします。

静岡を満喫中

中村剛さん（昭46年理工・研究科）

大学を卒業してすぐに長崎大学医学部助手となり、以来約40年間（サウスカロライナ医大客員教授等

の米国約5年間を含め）同大で研究・教育活動を行ってきました。専門分野は統計科学、公衆衛生学、情報科学です。長崎大教授退任後は中央大客員教授として5年間、東京暮らしをしていましたが、大学勤めを終わり、慌ただしい都会生活に見切りをつけ、昨年からは静岡で暮らし始めています。血縁、地縁もなく何の関わりもなかった静岡を選んだ理由は、東京に近く情報等が早いわりにゆつたりとした文化的な生活ができると思ったからです。

温暖で

魚も旨い静岡の生活に選択は間違いなかったと思つて



います。デパート好きの家内も満足してくれているようです。

稲門会で、いろいろな方々と知り合えることを楽しみにしています。

◇早慶麻雀大会は準優勝

9月15日（金）麻雀荘駅南で開催されました。結果は早稲田側の準優勝。来年は三田会から優勝杯を取り戻すべく雀鬼のご参加を！

◇早慶ゴルフ大会日程決まる

台風で延期になっていた早慶ゴルフ

大会は、平成30年3月18日8時半集合・9組で菊川CCにおいて開催されます。お問い合わせは陰山会長（070-5649-7143）まで。

◇「静岡県稲門祭2018」

静岡県稲門祭2018（早稲田大 学校友会静岡県支部大会・早稲田大 地域フォーラム）は、6月10日（日）に静岡市葵区黒金町のホテルアソシア静岡で開催されます。今回は当静岡市稲門会が幹事役となります。なお当会の平成30年度総会も、同会場で行われます。詳しくは新年にご案内いたします。会員各位のご参加、ご協力をお願いいたします。

◇早稲田アリーナ募金

静岡地区の募金額が伸びず苦戦しています。所得税控除も可能です。大学の発展にぜひご支援お願いします。お問い合わせは当会事務局へ。

来年も楽しく交流！

静岡市稲門会新年会

平成30年2月9日（金）午後6時半から静岡駅前のグランディエールで開催します。ご同伴大歓迎です。別紙案内状に従いお申込み下さい。